

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【公表番号】特表2011-505854(P2011-505854A)

【公表日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2010-538608(P2010-538608)

【国際特許分類】

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 P 17/10 (2006.01)

C 1 2 P 13/02 (2006.01)

C 1 2 P 13/04 (2006.01)

C 1 2 P 7/62 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 1/21 Z N A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 P 17/10

C 1 2 P 13/02

C 1 2 P 13/04

C 1 2 P 7/62

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月1日(2011.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 7】

酵素E₁₁₁は、クロモバクテリウム・ピオラセウムDSM30191由来の - トランスアミナーゼCV2025である、請求項 2 から 6 までのいずれか 1 項に記載の細胞。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

細胞内では、 - アミノカルボン酸エステルを相応する - アミノカルボン酸にする反応を触媒する酵素E_{1V}の発現が増大されている、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項に記載の細胞。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】

細胞内では、 - アミノカルボン酸を相応するラクタムにする反応を触媒する酵素E_vの発現が増大されている、請求項 1 から 9 までのいずれか 1 項に記載の細胞。